



(今週のメニュー)

1. 平成27年度病害虫発生予察特殊報第2号について (別添) (営農総合支援センター)
2. 園芸販売課情報 青果物の市場概況について (園芸部 園芸販売課)
3. 園芸資材課情報「種いもが届いた際の注意点」について (別添) (園芸部 園芸販売課)
4. 肥料農薬課情報「ハーモニー75DF水和剤」について (別添) (生産資材部 肥料農薬課)
5. 気象情報 (営農総合支援センター)

1

平成27年度病害虫発生予察特殊報第2号について (別添)

(発信部署：営農総合支援センター)

内 容：

群馬県農業技術センターより、表題の件について連絡がありましたのでお知らせします。

以下 URL よりご確認ください。

○群馬県 HP「病害虫発生予察情報一覧」

<http://www.pref.gunma.jp/07/p14210003.html>

2

園芸販売課情報 青果物の市場概況について (発信部署：園芸部 園芸販売課)

内 容：

	12月27日～12月29日		1月5日～1月9日	
品 名	高値	安値	高値	安値
はくさい (13kg) DB	756	216	756	324
ほうれん草 (200g) 袋	162	43	151	59
むきねぎ (5kg) DB	2,160	540	2,268	648
しゅんぎく (150g) 袋	162	76	140	54
にら (100g) 束	92	43	86	32
アスパラガス (100g) 束	—	—	324	140
ブロッコリー (4kg) DB	756	108	1,188	216
きゅうり (5kg) DB	3,780	1,620	2,700	864
生椎茸 (100g) トレー	162	86	173	76
いちご (300g) パック	594	216	378	162

3

園芸資材課情報「種いもが届いた際の注意点」について（別添）

（発信部署：園芸部 園芸資材課）

内 容：

今回は、種いもが届いた際の注意点についてまとめました。参考にしてください。

※詳細は別添資料をご覧ください。

4

肥料農薬課情報「ハーモニー75DF水和剤」について（別添）

（発信部署：生産資材部 肥料農薬課）

内 容：

今回は、麦の茎葉処理型除草剤「ハーモニー75DF水和剤」についてご紹介します。

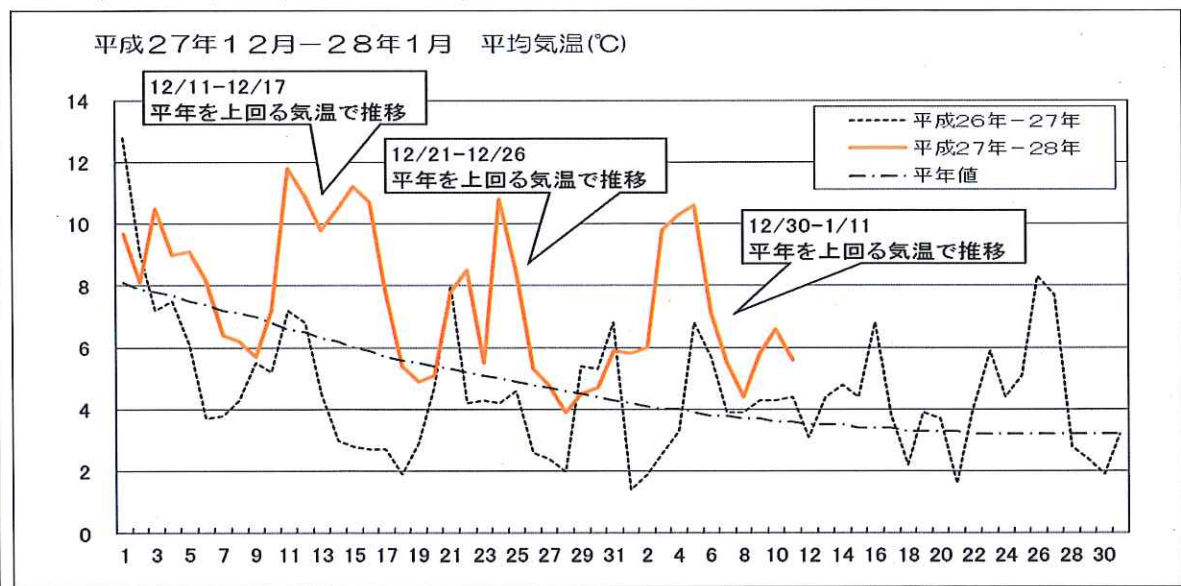
※詳細は別添資料をご覧ください。

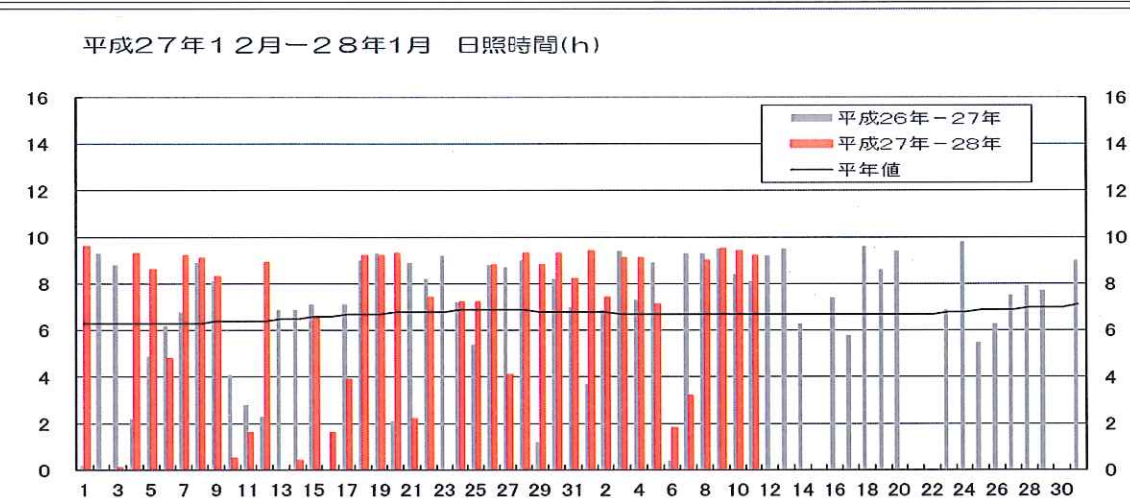
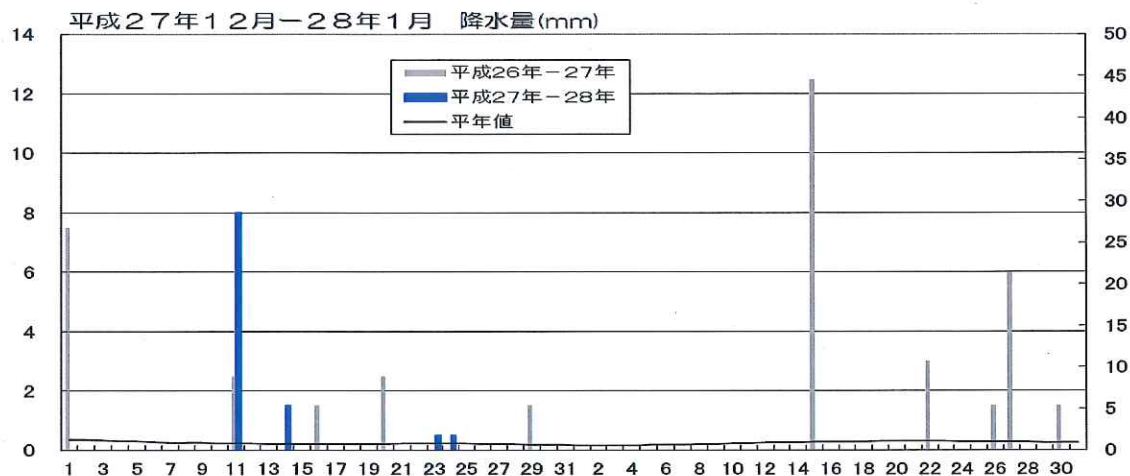
5

気象情報

（発信部署：営農総合支援センター）

内 容：気象経過（前橋气象台 標高112m）





JAみどりの風 放送予定

本放送：月曜日 21時00分～21時30分

再放送：日曜日 8時00分～8時30分



<次週の放送予定>

(第1190回) 「挑戦！イタリアン野菜」

放送日：1月18日（再放送日：1月24日）

内容：JAたのふじより、県内では珍しい野菜「イタリアン野菜」の栽培に挑むみなさんをご紹介します。

営農総合支援センター 生産振興課

(TEL：027-220-2255 FAX：027-220-2024)

種いもが届いたら

1. 種いもが届いたら

(ア) 種いもは、スーパーで売られている馬鈴しょ同様、「生もの」です。

(イ) ダンボールや紙袋は輸送容器であり、保管(保存)容器ではありません。

(ウ) ダンボールや紙袋で長期保管すると、腐敗・黒色心腐等の確率が高まります。種いもが届いたら、以下のとおりの処理を行ってください。



①ミニコンテナを用意



③ダンボール・紙袋の合格証を切り取り入れる



②手で移し替える



④冷暗所で保管(2℃～3℃)

※通気性が良くなる分凍傷には注意して下さい。

(エ) 都府県・JAで長期保管する場合、2℃～3℃での温度管理が可能な倉庫で保管し、一定のロス(腐敗・萌芽・水分蒸発による減耗)を見込んで在庫管理をして下さい。

(オ) 「種馬鈴しょ検査合格証票」は、品質事故発生時に有用なので、捨てずに保管しておいてください。

2. 着荷時の注意点について

(1) 着荷時に萌芽していない場合

- ダンボールや紙袋からコンテナに移し替え、いもの呼吸熱がこもらないようにします。
 - 北海道産種馬鈴しょには、収穫後、しばらく萌芽しない品種固有の休眠期間がありますが、大部分の品種は、年内に休眠が明けてしまいます。そのため、出庫（植付け準備）まで、そのままの休眠状態にして保管（保存、貯蔵）することが重要です。
 - 保管は、呼吸と芽の伸長（芽の動きのホルモンの活動）を抑えるために、暗所で温度2℃～3℃で条件で、強制的に休眠状態にし、体内の養分を極力消耗しないようにして置くことが、高品質・多収生産のために重要です。
- なお、湿度条件は、90～95%と高いのが望ましく、種いもの乾燥減耗を防いだり、傷口のコルク化を促進したりするので重要です。

(2) 着荷時に既に萌芽している場合

- ダンボールや紙袋からコンテナに移し替え、いもの呼吸熱がこもらないようにします。
 - 1 cm 以上芽が伸長し始めていたら、先ず、芽を手で掻き、温度2℃～3℃で保管し、浴光催芽作業までの間芽の伸長を極力抑えるようにします。湿度は上記と同じです。
- なお、芽掻は2～3回までは良いですが、それ以上になると初期生育や収量性に悪影響が出ると言われています。
- 芽が短い場合はその芽を利用して植え付けるので、芽が取れたり潰れたりしないよう、手でやさしく取り扱って下さい。



1. 二次成長、ラセット粗皮

- 症状：いもの頂部が細く伸びたり、こぶ状になったり、連鎖状になど様々な形を示します。ラセット粗皮（ネット）も裂開も二次生長の一つの型と考えられます。
- 発生原因：塊茎肥大期に高温、乾燥が続き土壌水分が欠乏し、生育が止まり停止している時に、多量の降雨があり、高温で再生育を続けて発生します。
- 種いもとしての可否：

二次生長およびラセット粗皮は種いもとして使用することができます。二次生長いもを種いもとして植えつけても、同じ型になることはありません。

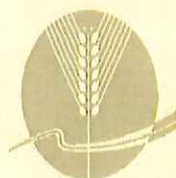


以上

麦除草の決め手。

麦の茎葉処理型除草剤

デュポン



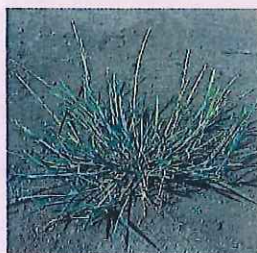
ハーモニー[®]75DF

水和剤

●雑草スペクトラム

雑 草		薬 量 (g/10a)	
草 種	葉 期	7.5	10.0
スズメノテッポウ	～5	◎	◎
ヤエムグラ	～4(節)	◎	◎
ノミノフスマ	～8	◎	◎
タネツケバナ	～5	◎	◎
ナズナ	～8	◎	◎

雑 草		薬 量 (g/10a)	
草 種	葉 期	7.5	10.0
ハコベ	～4	◎	◎
ミチヤナギ	～4	○	◎
フラサバソウ	～5	○	—
オランダミミナグサ	～4	◎	◎
ノボロギク	～3	◎	◎



スズメノテッポウ



ヤエムグラ



ハーモニー75DF水和剤
処理区



無処理区

ハーモニー[®]75DF 水和剤

特 長

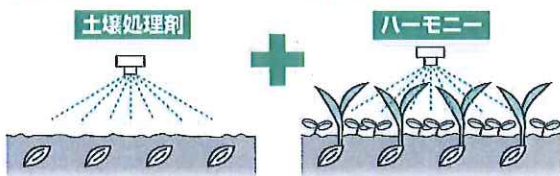
- 生育期のスズメノテッポウや広葉雑草に対してすぐれた防除効果を発揮します。
- 土壌条件に左右されない安定した効果があります。
- 使用時期が幅広いので散布作業に余裕がもてます。

ハーモニーの上手な使い方

① 土壌処理剤との体系処理を行う

【は種後】

【雑草発生始期】



② 3～5年に一度、ハーモニーを使用しないで、は種後に土壌処理剤を使用する

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目
土壌処理剤	+	ハーモニー	土壌処理剤のみ使用	土壌処理剤	+	ハーモニー	土壌処理剤のみ使用

使用方法

(関連項目のみ抜粋)

※2011年5月11日現在

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10アール当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	チフェンシルフロンメチルを含む農薬の総使用回数	
				薬 量	希釈水量					
小 麦 (春播)	一年生 広葉雑草	小麦3～5葉期	全土壌 (砂土を 除く)	3～5g	100ℓ	1 回	雑草茎葉 散布	北海道	1 回	
小 麦 (秋播)	ギシギシ類	幼穂形成期 (但し、収穫45日前 まで)		7.5～10g						
	一年生 広葉雑草									
小 麦	一年生 広葉雑草	は種後～節間伸長前 (但し、スズメノテッ ポウ5葉期まで)		5～10g			雑草茎葉散布 又は 全面土壌散布	東北以西 (九州を除く)		
	スズメノ テッポウ	麦1葉期～節間伸長前 (但し、スズメノテッ ポウ5葉期まで)		10g			雑草茎葉 散布	九 州		
大 麦	カズノコグサ	麦1葉期～節間伸長前 (但し、カズノコグサ1～3葉期まで) 土壌処理剤との体系処理で使用		5～10g			雑草茎葉散布 又は 全面土壌散布	東北以西 (九州を除く)		

注意事項

(関連項目のみ抜粋)

- 所定量の薬剤を所定量の水に加え、よくかき混ぜてから均一に散布してください。
- 調製した薬液は速やかに使用してください。
- 散布直後に降雨が予想される場合は使用をさけてください。
- 散布液の飛散や流出によって有用植物に被害が生じることのないように十分注意して散布してください。
- なお、必要に応じて飛散防止ノズルを使用して散布してください。
- 本剤を連年施用するとスズメノテッポウに効果が劣ることがあるので、有効な薬剤との組み合わせ、または輪番で使用してください。
- 本剤散布に用いた器具類は、タンクやホース内外に薬液が残らないよう使用後できるだけ早く水でよく洗浄し、他の用途に使用する場合、被害の原因にならないように注意してください。
- 散布器具、容器洗浄水は河川などに流さず、環境に影響を与えないように適切に処理してください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を

受けてください。使用後は洗眼してください。

- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等、関係機関の指導を受けることをおすすめします。
- 使用量にあわせて薬液を調製し、使いきってください。空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。
- 漏出時は、保護具を着用し、掃き取り他の容器に回収してください。
- 移送取扱いは、ていねいにやり、転倒、破損することのないようにしてください。

【麦類に使用する場合】

- 必要に応じて展着剤を加用してください。
- 単用処理の場合は、10アール当り7.5～10gでの使用をおすすめします。
- 体系処理の場合は、土壌処理剤との体系処理で使用してください。
- 小麦 (春播) に使用する場合、イネ科雑草には効果が劣るので、イネ科雑草に有効な土壌処理剤との体系で使用してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

お求めは…

販売元

MBC 丸和バイオケミカル株式会社

<http://www.mbc-g.co.jp>

本社/〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5-2

☎03-5296-2314

札幌/☎011-222-1285 仙台/☎022-261-1103

名古屋/☎052-951-7234 大阪/☎06-6371-3145

福岡/☎092-714-7101

お問い合わせ窓口/☎03-5962-9731 (平日9:00～17:00祝祭日を除く)